

### ポイント3 どのようなことに使われていくの？

7つの基本政策に基づいて、主な事業をご紹介します。

#### 基本政策1 人が行き交う魅力とにぎわいあふれるまち

**new** 鹿児島マラソン(仮称)開催事業 (1億円)  
本市の魅力を感じていただける大会を平成28年3月に開催します



大会のイメージ

**new** 天文館ミリオネーション(仮称)開催事業 (8,850万円)

新たに光の空間を創出するイベントを冬季に開催します



イベントのイメージ

**■** 平川動物公園リニューアル事業 (4億2,648万9千円)

#### 基本政策2 健やかに暮らせる安全で安心なまち

**new** 乳児ロタウイルス予防接種事業 (3,533万3千円)  
乳幼児における感染性胃腸炎の重症化と合併症を防止するため、新たにロタウイルスワクチンの接種費用を助成します



**■** 施設型給付費(150億4,528万円)  
認定こども園などを28カ所設置し、利用定員を拡大します

**■** 高齢者福祉センター伊敷(仮称)建設事業 (3億6,816万5千円)

※西部親子つどいの広場(仮称)との合築(平成28年度末供用開始予定)



完成予想図

#### 基本政策3 水と緑が輝く人と地球にやさしいまち

**new** 南部清掃工場ごみ焼却施設・バイオガス施設整備事業(8,162万7千円)  
両施設の一体的な整備に向け、生活環境影響調査や基本設計などを行います

**new** 武岡公園整備事業(1,040万円)

優れた眺望を生かし、市民・観光客の憩いや散策の場として武岡公園を整備するため、基本計画の策定などを行います



公園予定地からの眺め

**■** 城山公園自然の森再生事業(3,470万9千円)

園路整備工事や園内の外来種の除去などを行います



園路整備後のイメージ▶

#### 基本政策4 地域産業が元気で生き生きと働けるまち

**new** ものづくり職人育成支援事業 (48万8千円)

**new** フードビジネス推進事業 (1,386万8千円)  
食品関連産業の人材育成から商品開発、マーケティング・販路開拓までを一貫して支援する体制の充実を図ります

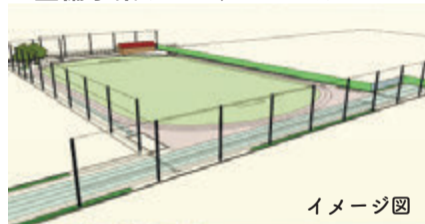
**new** かごしまお茶まつり鹿児島大会開催事業(510万円)  
同大会を開催し、市内産のお茶のPRや製茶技術のさらなる向上を図ります  
※平成27年11月予定



大会のイメージ

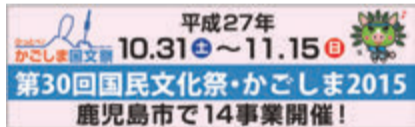
#### 基本政策5 学ぶよろこびが広がる誇りあるまち

**■** 鹿児島女子高多目的グラウンド整備事業(2億3,630万円)



イメージ図

**new** 第30回国民文化祭開催事業 (9,785万4千円)  
「吹奏楽の祭典」や「本場大島紬フェスティバル」など14事業を主催します

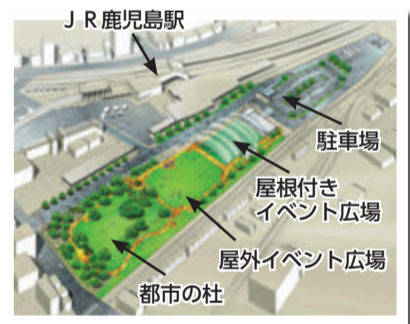


**■** 次世代を切り拓く青少年育成事業 (509万8千円)  
グローバル人材の育成に重点を置いた「かごしま創志塾」を開設します

#### 基本政策6 市民生活を支える機能性の高い快適なまち

**new** 安全安心住宅ストック支援事業(1億650万円)  
住宅リフォームや耐震補強などに対して助成します

**■** 鹿児島駅周辺都市拠点総合整備事業(11億2,130万8千円)  
屋根付きイベント広場の整備工事などを行います



イメージ図

**■** 中央町19・20番街区市街地再開発事業(1億5,322万8千円)

#### 基本政策7 市民と行政が拓く協働と連携のまち

**new** 期日前投票所の新設 (58万6千円)  
新たに鹿児島大学と勤労者交流センター(よかセンター)に期日前投票所を設置します  
※平成27年4月県議選～



鹿児島大学での模擬投票

**■** コミュニティビジョン推進事業 (9,410万8千円)  
地域コミュニティ協議会の設立準備活動への補助や地域連携コーディネーターの増員などを行います

**new** 個人番号カード交付事業 (2億3,032万8千円)  
同カードを平成28年1月から、本庁と各支所で交付します

このように、地方創生の実現的なスタートとなる今年度、限られた財源の中で、健全財政の維持と地域活性化のバランスに配慮しながら、一般会計で過去最高となる241.9億円の予算を編成しました。びとの暮らしを「ささえる」、まちの魅力や「みがく」、しごとで活力を「つくる」の3つを地方創生の扉を開くキーワードに掲げ、本市の未来に明るく確かな展望が拓けるよう、予算に反映したところです。

具体的には、マニフェストで市民の皆さんと約束した7つの基本政策に基づいて、高齢者福祉センター伊敷(仮称)や西部親子つどいの広場(仮称)の建築工事に着手するほか、国民文化祭や鹿児島マラソン(仮称)を開催するなど、本市の特性を生かした取り組みを積極的に展開しながら、「人・まち・みどり」みんなで創る「豊かさ実感都市・かごしま」の実現を目指し、全力を傾けてまいります。

今月号の特集では、この予算の概要を紹介しています。誇りうる鹿児島を、次の世代に責任を持って引き継いでいけるよう、地方創生への力強い一歩を踏み出す年として、市民の皆さんとともに、市政をもっと前へ進めてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

**市民とともに**

鹿児島市長  
森博幸

#### 地方創生へ力強い一歩を

平成27年度がスタートしました。街角で、真新しいスーツに身を包む新社会人の初々しい姿や、子どもたちが新入生を囲みながら楽しそうに登校する微笑ましい様子を目にします。また、色とりどりの花が咲き誇り、木々も芽吹くなど、人も自然も新しい動きが始まる季節です。

さて、我が国は、今後急速に進む人口減少を克服し、活力ある地域社会をつくるため、地方創生に総力を挙げて取り組むこととしています。本市においても1月には、私を本部長とする推進本部を立ち上げ、このたび新たな組織も設けました。地方にとって難しい課題ではありますが、本市の将来を見据え、挑戦する気概を持って、総合戦略の策定・推進に積極的に取り組んでいきたいと考えています。